

HULFT Data Communication

HDC

CASE STUDY

HDC-EDI Suite

SGシステム株式会社

Sg systems

**全銀、JCAなど多様な通信手順が混在する
物流取引データの集中管理が可能になり
サービス提供の迅速化と品質向上を実現**



SGシステム株式会社

全銀、JCAなど多様な通信手順が混在する 物流取引データの集中管理が可能になり サービス提供の迅速化と品質向上を実現

佐川急便から誕生した純粋持株会社のSGホールディングス。その情報システム関連の事業会社であるSGシステムは、グループ内で国際物流サービスを展開する佐川グローバルロジスティクスのEDI（電子データ交換）基盤にHDC-EDI Suiteを導入。これにより、荷主側システムの多様な通信手順に対応し、スムーズなデータ連携と集中管理を実現。さらに取引データの監視・管理作業が大幅に省力化され、障害対応も迅速になり、佐川グローバルロジスティクスにおけるEDI基盤の品質向上につながっている。



SGシステム株式会社
SI(システムインテグレーション)
事業部
SGHシステム推進課
主任
石川 長氏



SGシステム株式会社
SI(システムインテグレーション)
事業部
SGHシステム推進課
富田 雄佑氏

国内屈指の物流サービス会社、佐川急便などを傘下に持つSGホールディングス。その一員として、グループ各社の情報システムおよびネットワークの整備、運用管理を担うのがSGシステムである。物流サービスを支える情報システムやネットワークは物流インフラの「神経」ともいえる存在。それだけに同社の役割はグループ内でも非常に重要だ。

同社は2009年8月より、グループ各社の情報システムの整理・集約化を目指す「IT情報最適化」を推進。その一環として取り組んだのが、国際物流サービスを展開する佐川グローバルロジスティクス(SGL)向けに提供するEDI基盤の最適化である。

通信手順が多様化し 変換処理と管理の手間が増大

このEDI基盤には15荷主が接続されている。通信手順はHULFTのほか、全銀、JCA、FTPなど多彩。入荷・出荷指示などの取引データ件数は1日あたり200から300件にのぼる。EDI基盤はそれらの取引データを求められる形式に変換し、SGLが管理する統合情報管理システムに引継ぐのが役割である。

EDI基盤の最適化に取り組んだ理由

について、SI(システムインテグレーション)事業部 SGHシステム推進課 主任の石川 長氏は次のように話す。

「従来は他社のEDIパッケージを利用していましたが、接続システムの拡大に伴い、通信手順が多様化し、フォーマット変換などを行う変換定義の認定も複雑化していました。また従来のパッケージは取引データの処理をプロセスごとに別画面で監視しなければならず、管理の手間も増大していました」。

こうした課題を解消するために導入したのが、セゾン情報システムズのHDC-EDI Suiteである。EDI基盤とSGLの統合情報管理システム間の通信はHULFTとFTPで行っているため、荷主側システムの多様な通信手順をHULFTとFTPに効率的に変換できる仕組みが必要だったのだ。導入にあたっては、既存パッケージのバージョンアップ版の採用も検討したが、基本的な処理スキームは同じだったため、従来からの管理の課題は解消できないと判断した。

「その点、HDC-EDI Suiteは多様な通信手順をサポートしており、コード／フォーマット変換などを容易に実行することが可能。管理基盤となるHDC-EDI Managerを使えば、複数のプロセスにわたる取引データの処理を1つの画面

User Profile



SGシステム株式会社

本社
京都市南区上鳥羽角田町25番地

営業開始
1983年2月17日

資本金
3億5000万円

従業員数
1206人(2011年3月20日現在)

事業内容
SGホールディングスグループの事業会社として、主に情報システムおよびネットワークの整備、運用管理を担う。今後はこれまでのノウハウを活かしたクラウドサービス、パッケージ製品などを、グループ以外にも幅広く提供していく予定。

上で集中管理することもできます。一連のプロセス監視のため、わざわざ画面を切り替える必要がなく、管理の手間が大幅に省力化できました」と石川氏は選定のポイントを語る。

同社は2009年11月にHDC-EDI Suiteの導入を正式決定。2010年1月から開発を進め、同7月までに旧システムからの移行を完了、本格稼働を開始した。なお、セゾン情報システムズは今回のパッケージを提供するだけでなく、HDC-EDI Suiteをベースとした新システム構築や旧システムからの移行作業についても強力にサポートした。「技術的な課題や問合せにも迅速に対応してもらったおかげで、スムーズな導入を実現できました」とSI(システムインテグレーション)事業部 SGHシステム推進課の富田 雄佑氏は評価する。

サービス提供までの期間を半減 物流全体の品質向上にも貢献

HDC-EDI SuiteによるEDI基盤は同社に様々なメリットをもたらしている。まず挙げられるのが、サービス提供スピードの著しい向上だ。従来は新たな荷主とEDI基盤をつなげる場合、荷主側のシステムや通信手順に対応した各種設定や変換処理の作り込みが必要だった。「しかし、HDC-EDI Suiteによる新システムでは各種の設定画面が簡素化されており、専門知識がなくても設定作業が可能となりました」(富田氏)。そのため、システム間の連携が簡単に行えるようになり、多様な通信手順の変換処理を安全・確実に実行できるようになった。「以前はEDI基盤を利用できるようになるまでに2カ月程度かかっていましたが、今はその期間が最大1カ月程度に短縮され、荷主様のニーズにタイムリーに対応できる環境が整いました」と石川氏はその効果を語る。

HDC-EDI Managerによる集中管理も大きなメリットとなっている。以前は

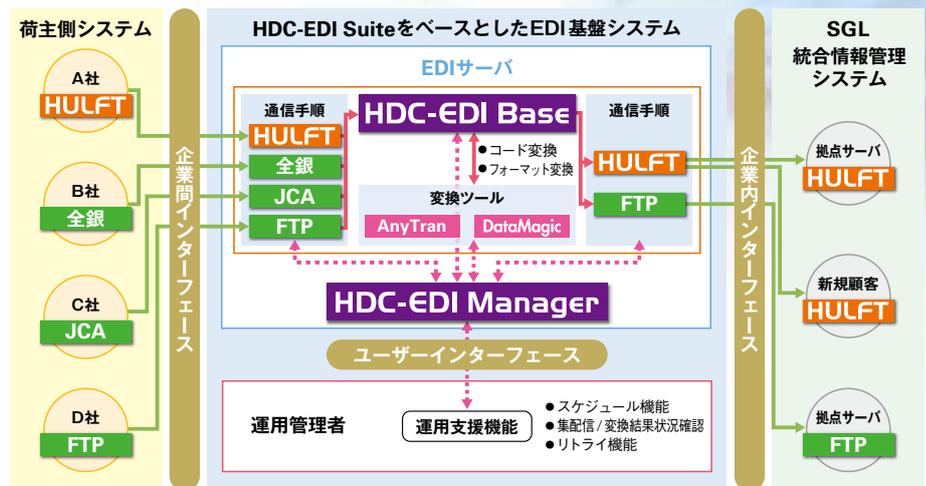


図1 SGL向けEDI基盤のシステム構成イメージ
顧客システムが利用する多様な通信手順のコード/フォーマット変換を行い、SGLの統合情報管理システムに取引データを伝送する

入荷・出荷指示など取引データのプロセスごとに管理画面が分かれていたため、処理遅延などが発生した場合、それぞれの管理画面から原因解析を行うなど処理遅延箇所の特定が困難だった。結果的に取引データの伝送が遅れ、出荷がタイムリーに行えなくなるなど物流に支障をきたすことも懸念された。「しかし、今は1つの管理画面で一連のプロセスを管理できる上、同じ画面上で障害情報を表示し、発生箇所の特定も行ってくれます。以前と比べ、システムの復旧スピードが格段に向上しました」と富田氏は評価する。これにより、EDI基盤がボトルネックとなった取引データの遅延を低減し、物流業務の品質と信頼性の向上につながっているという。

EDI基盤を管理するオペレータの負荷も軽減されている。SGL向けのEDI基盤では1日に200から300件もの取引データを監視する。その作業は取引データのプロセスごとに別々の管理画面を開いて行うため、EDI監視時間は午前中から深夜まで8時間程度が必要だった。しかし、現在は1つの管理画面で複数のプロセスにわたる取引データを集中管理できるため、監視作業が大幅に効率化され、6時間程度で済む。「約2時間もの作業時間の短縮を実現して



図2 管理の基盤となるHDC-EDI Managerの業務情報登録画面
業務情報名を設定し、連携パターンを選択する。その上で「ファイル設定」「連携設定」「ファイルID設定」などの詳細設定を行うだけで、シームレスなデータ連携が可能になる

います」と富田氏は話す。

今後はグローバル化の進展に伴い、海外の荷主がEDI基盤を利用するケースも増えてくる。「すでに海外で広く利用されているSFTP、メッセージキューイング、次世代通信手順であるJX手順の対応については、今後の課題として進めています」と話す石川氏。最適化をさらに進めていけば、システムの標準化が加速され、SGL以外のEDI基盤として活用することも可能になるだろう。SGホールディングスの物流サービスを支えるEDI基盤として、HDC-EDI Suiteの重要性はますます高まりそうだ。

お問い合わせ

株式会社 セゾン情報システムズ

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15 ~ 17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

E-mail:hulft@saizon.co.jp

http://www.hulft.com/



- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

[お問い合わせ先]

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT営業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

関西事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル 4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2011年7月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

201107-3000-1